

11月29日はノウフクの日！

農福連携は、障害者をはじめとする多様な人たちの農林水産業での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、担い手不足や高齢化が進む農林水産分野における働き手の確保や、全ての人々が生きる力や可能性を最大限に発揮できる地域共生社会の実現に資する取組です。

11月29日の「ノウフクの日」を中心とした、11月1日（土曜日）から12月31日（水曜日）までの期間を「もっともっとノウフク 2025」として、全国各地で農福連携に関するイベントを開催します。



○ 「ノウフクの日記念イベント 2025」の開催

農福連携に取り組む若手農業者や、地域協議会及びユニバーサル農園の実践者等による講演とトークセッション、農福連携の現場で活躍する方による講演を会場で行うほか、オンラインでも配信します。さらに、会場では農福連携製品の展示・試食も行い、ノウフクの日を盛り上げます。

○ 本省内の食堂等における「ノウフクフェア」の開催

農福連携を推進する4省庁の共同プロジェクトとして、「ノウフクの日」の前後2週間に、本省内の食堂において農福連携により生産された農産物を用いたコラボメニューの提供等を行う「ノウフクフェア」を開催します。

○ 各地でのイベント開催

11月29日の「ノウフクの日」を中心とした11月1日（土曜日）から12月31日（水曜日）までの期間を「もっともっとノウフク 2025」として、全国各地で農福連携の更なる普及・啓発を目的としたイベントが行われます。

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/251020.html>

12月8日は有機農業の日（オーガニックデイ）

「有機農業の推進に関する法律」（通称：有機農業推進法）が成立してから10周年を記念し、2016年に、12月8日が記念日「有機農業の日（オーガニックデイ）」として制定されました。有機農業の日をきっかけに、有機農産物等を活用した給食の提供や有機食品の販売促進、情報発信などに取り組んで、有機農業の推進に参加してみませんか？

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/youki/yuki2025/yukinohi2025.html>

彩の国 農業人

～ねぎ栽培で新規就農！有機肥料
100%栽培に取り組む若き農業者～
「とねちゃんふぁーむ」
代表 利根川 直輝さん

美里町において、SNSを駆使し、ねぎの有機肥料100%栽培に取り組む「とねちゃんふぁーむ」代表の利根川直輝さんをご紹介します。

本庄市在住の利根川さんは、美里町でねぎの有機肥料100%栽培に取り組む就農4年目の認定新規就農者です。大学を卒業後、民間会社に就職していましたが、令和4年に美里町で農業を営む奥様の叔父に誘われて、叔父の麦畑と、同町にある奥様の祖父の作業場を借り受け、ねぎとなすの栽培で就農しました。2年目の令和5年には認定新規就農者となり、同年「とねちゃんふぁーむ」を設立しました。就農に当たっては経営開始資金を利用しているとのこと。利根川さんは、就農前に農業大学校や担い手育成塾には通っておらず、叔父や近所の農家からの指導を受けたり、資材購入先の農業資材店に相談したり、あるいはSNSを駆使して農業を勉強しています。



とねちゃんふぁーむ
利根川 直輝さん

就農当初は、有機肥料に関する知識はありませんでしたが、2年間で、独学で農業に関する本を読み勉強し、3年目（昨年）には「みどり認定（土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減）」を受けて、有機肥料での栽培を始め、現在は、有機肥料100%で栽培しています。

「とねちゃんふぁーむ」では、ねぎ7品種で通年栽培を試みています。栽培面積を1年目30a、2年目50a、3年目1ha、そして4年目は2haに増やしました。利根川さん本人と従業員のパートタイマー6人で営農しており、収穫したねぎは、全量を上武生産市場に販売し、直接販売は行ってないとのこと。

また、SNSを通じて、有機栽培生産者に直接質問したり、有機栽培生産者との集まりに参加したり、意欲的に活動を行っています。現在は、家族との時間を大切にしたいという思いから土曜日と日曜日を休業日にした営農を試みています。

就農して思うこととして「農業は虫と病気の闘いということ。1年目はヨトウムシにやられ、2年目は軟腐病にやられた。今年も虫が多いのが悩みだが、やりがいがあるし、楽しい。家族を食わせていかなければならないし、面積はもっと増やしたいと思っている。」と意気込みを語ってくれました。



編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2号館
TEL 048-740-5835 <関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>